

都立病院の充実を求める

〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10

電話 03-6912-1871 FAX 03-6912-1872

メール thei41822@blue.ocn.ne.jp

発行 2022・1・4 110号

# 連絡会ニュース

## あけましておめでとうございます 都立・公社病院の独法化中止 今年は正念場の闘いです

あけましておめでとうございます。

昨年は各守る会や実行委員会の参加団体の奮闘で、3月議会への都側の定款提出を断念させ、その後の都議選での大きな争点になりました。

定款は残念ながら可決されてしまいましたが、都議会での論戦では共産党や立憲民主党、自由を守る会が質問に立ち、コロナ禍の中での独法化に反対しました。都側は独法化の必要性などにつ

いて、コロナ禍前の答弁を繰り返すだけで、まともに質問に答得ず、答弁不能状態になりました。

2月に開会される2022年第1回定例都議会では、都立病院の設置条例廃止が提案されることが予想されます。

都民のいのちを守る都立病院をなくすな  
の声を全都に広げ、廃止提案をストップ  
させましょう。短期間ですが、1月末まで  
に署名5万筆目標に集めましょう！

### 師走でも守る会は粘り強く宣伝 多摩キャンパス良くする会は西国分寺駅で宣伝

12月16日 多摩キャンパス良くする会  
が西国分寺駅宣伝を行いました。とても

反応が  
良くあち  
らこちら  
から近  
寄りて、  
話を  
聞きに  
来てくれ



ました。  
7名の参加、50筆の署名が集まりました。「いのちと都立病院を守る国分寺の会(以後国分寺の会)」からも協力参加がありました。11月は「国分寺の会」も宣伝を行っています。1時間で200、300と署名が集まります。会の方にいつもこんなにたくさん集まるのか伺いましたが、この都立病院関係の宣伝が際立って多いとのこと、関心が高いとのことでした。

### 年の瀬の寒風の中 新宿駅南口で大宣伝署名行動 人権としての医療・介護東京実行委員会が主催

12月18日、「人権としての医療・介護東京実行委員会」は、新宿駅南口で「都立・公社病院の独法化中止」を訴え宣伝、署名行動に取り組みました。構成8団体から110人が参加、ビラいりのティッシュを1200個配布、独法化中止署名66筆が集まりました。

連絡会の森越代表委員の司会で、千葉医療関連協議長が挨拶、日本共産党の大山とも子都議団長が挨拶し、上田令



子都議、本田宏医師、宮子あずさ氏がメッセージを寄せました。東京土建、東京自治労連、東京医労連、東京民医連の代表が訴えを行い、各病院守る会から、大塚病院を守る会、多摩キャンパス良くする会、荏原病院を守る会が、さらに台東病院を守る会が取り組みを報告。最後に窪田事務局長が行動提起と閉会あいさつを行いました。



### 松沢病院の医療を充実させる会は 12月18日に祖師ヶ谷大蔵駅で宣伝・署名行動




17日、世田谷区議会福祉保健常任委員会で「独法化見送り」陳情にもとづく「委員会陳述」が行われました。陳述者は太田・安田2名。結果は、自・公・行革・あつたの4会派が継続或不採択。趣旨賛成は、立憲・共産・生ネット……で結果は残念ですが継続審議になりました。

### 駒込病院を守る会は 12月12日に第14回 総会を開きました



# 都議会審議中なのに 都立・公社病院の独法化を 都民の税金を使い6大紙に広告

東京都病院経営本部は12月26日、東京新聞に以下の広告を掲載しました。同じ都民の税金を使い、都議会審議中の独法化の宣伝広告を掲載したことに連絡会広告は朝日、毎日、読売、産経、日経にもは抗議し、27日に前沢、森越両代表委員が知事室に抗議文を提出しました。(右)



## 都立病院・公社病院は、「新たな都立病院」としてスタートを目指しています

東京都では、都立病院と公社病院を一体的に地方独立行政法人化し、令和4年7月の「東京都立病院機構」設立を目指し準備を進めています。

※法律に基づき、定率約100%増徴により従事する職員の給与は、国の関与のもとで病院の病種に必要な医療サービスを提供する体制。

東京都

### 必要な医療を一層充実

救急医療やがん治療など、重症の患者さんや合併症のある患者さんの受入体制を強化し、最適な医療を提供します。

### 災害時等の医療体制を強化

都立・公社病院が日頃から連携を強化し、新型コロナウイルス感染症や今後起こるかもしれない新興感染症、首都直下地震などに備えます。

### 地域医療の充実に貢献


誰もが住み慣れた地域で安心して療養できるよう、地域医療機関等との連携を一層強化し、患者さんを支えます。

**引き続き、都民の皆さんを医療で支えていきます**

独法化に関する詳しい内容は、こちらをご覧ください

[https://www.byouin.metro.tokyo.lg.jp/about/jigyuu/soshiki\\_gaiyou/soshiki/sosikidopou/index.html](https://www.byouin.metro.tokyo.lg.jp/about/jigyuu/soshiki_gaiyou/soshiki/sosikidopou/index.html)

問い合わせ：東京都病院経営本部経営企画部総務課 TEL:03-5320-5847



# 都立・公社病院を守る運動交流集会

独法化は中止に

日時 **2022年1月15日(土)**  
**13:30～15:30**

場所 **ラパスホールとWeb**

- 各地域の経験交流を行います。
- 当面の取り組みについて提案・論議します。
- 署名の紹介都議に、この間の議会論戦についてお話し頂く予定です。

**ZOOM アクセス**

ID 894 2894 8878  
Pass toritu

**会場へのアクセス**

山手線 大塚駅  
丸の内線 新大塚駅  
より 徒歩8分

人権としての医療・介護 東京実行委員会  
都立病院の充実を求める連絡会

事務局連絡先：東京社会保険推進協議会  
Email: syahokyo.tokyo@gmail.com  
TEL: 03-5395-3165

## <抗議声明>

東京都知事 小池百合子殿

2021年12月27日

都立病院の充実を求める連絡会

## 都民の税金を使った新聞への掲載に抗議します

東京都は、暮れも押し迫った12月25・26日の各紙に「都立病院・公社病院は、『新たな都立病院』としてスタートをめざしています」の広告を出しました。

そこには、「東京都では、都立病院と公社病院を一体的に地方独立行政法人化し、令和4年7月の『東京都立病院機構』設立を目指し準備を進めています。」と記載されています。

第3回定例都議会でも、都立・公社病院の独立行政法人化への「定款」が可決されました。しかし、論議の中で都内病床のわずか6%の病床で都内コロナ病床の約30%を担うとともに、感染症対策の支援・指導にも職員を派遣した都立・公社病院の果たしている大きな役割を評価する意見が相次ぎました。ところが、議会審議の中で「コロナ禍のいま、その対応で大きな役割を果たした都立・公社病院をなぜ地方独立行政法人化するのか」との質問に対して、東京都から納得のいく説明はありませんでした。

都立・公社病院が独立行政法人化されると、「経営の独立採算」「民間並みの効率化」が求められ、採算性の低い感染症や難病など「行政的医療」は後景に追いやり、患者負担が増大します。

コロナ禍で全国の独立行政法人化された病院がコロナ感染患者を十分受け入れられず、在宅で命を落とす人が続いたのは記憶に新しいことです。

都の「広告」にある「必要な医療の充実」「災害時等の医療体制を強化」「地域医療の充実に貢献」はこれまでも都立・公社病院が重点的に進めてきたことであり、地方独立行政法人化で「新しい都立病院」になればできるということは都民を欺くものです。

そして、第6波が予想される今、「都立・公社病院の独立行政法人化はやめて」の都民の声に耳を傾けないことは自治体としての役割を果たさないものです。

その上、マスコミへの広告費は都民の税金です。税金を一方的で誤った内容を広げるために使うことは税金の使い方としても許せません。

広告の撤回と都民への謝罪を求めます。